

スタイルのある家に住む
『ライヴズ』(隔月刊)

30代の住まいストーリー／ヴィンテージ・ハウス

LIVES

Living & Lifestyle Magazine

僕らはなぜ、持ち家にこだわったのか？

30代の住まい ストーリー



暮らすほどに愛着が深まる
ヴィンテージ・ハウス

音楽好きの至福空間
音を楽しむ家

東京・千葉・京都
ライヴズ
不動産

もっと自由楽しく暮らせる
賃貸住宅情報

APRIL & MAY 2018

| Architecture | Renovation | Interior | Material |

vol. 98
1,010yen

DAIICHI PROGRESS

ヴィンテージの秘訣が満載!

VINTAGE
TIPS
GUIDE

→ 084

VINTAGE HOUSE STYLES

暮らすほどに愛着が深まる

ヴィンテージ・ハウス

photograph_Takuya Furusue



新築から古民家まで

「多国籍ミックス」「倉庫コンバージョン」「古民家再生」「レトロモダン」。多彩なタイプをご紹介します。

経年した木やスチール、クラシカルなデザインなどを取り入れたヴィンテージ・テイストの家が人々の心をつかんでいます。懐かしいけど新しく、初めてなのにじっくり馴染む。住むほどに愛おしさが育つヴィンテージ・ハウスの空間をお楽しみください。

ヨーロッパのヴィンテージ壁紙や、海外の古い建物のなどに使われていた建材を活用した「甘夏民家 (P.076 ~)」。写真は併設するカフェスペース。

VINTAGE HOUSE STYLES

DATA

〈敷地面積〉450.11㎡ 〈建築面積〉不明 〈床面積〉不明 〈主要構造〉木造 〈用途地域〉第一種低層住居専用地域 〈既存建物竣工〉1938年 〈リノベーション竣工〉2016年 〈設計期間〉3ヶ月 〈工事期間〉18ヶ月 〈企画・プロデュース〉Safari B Company 〈施工〉Safari B Company



左・内部で唯一玄関部分は昔のままの姿をとどめた。ジョージ・ネルソンのぼんぼりのような照明器具を合わせて。右・朽ちていた門や塀を塗り直してフランス製の照明を添えた。建物の外観は修繕のみでデザインはほぼそのまま。



2年の歳月を費やしてつくり上げたカフェ。平日は夫妻やシェアハウスの住人のくつろぎの場に。新材に入れ替えた柱は、アメリカの古い床材で覆って馴染ませた。

住人データ

夫(40代) 不動産コンサルタント

妻(40代) 行政書士

築79年の建物を 新たな文化発信地に 生まれ変わらせる

「甘夏民家」と名づけられたこの古民家は、夫婦の住居の他にシェアハウスとカフェ、オフィスを併せ持ち、近隣の人がコーヒーを味わいに訪れる。

text_Eri Matsukawa photograph_Takuya Fúrusue



上・カフェ、カウンターの腰壁には、100年前のアメリカの木綿工場のフローリング材を使用。
下・トイレのサインは新品にペイントで古びを加えた。壁紙はフランスのヴィンテージ。

「庭」に甘夏の木があるから、という理由」と笑う孫鶴廷さん。築79年の古民家をリノベーションした「甘夏民家」の名前の由来だ。夫・横山亨さんとの自宅のほか、カフェ「雨ニモマケズ」とオフィス、シェアハウスを内包する。「規模の大きな古民家は、再生しても資金的に立ちゆかなくなる。そうならないために、入口をたくさん設けて貸し出せる空間にしました」（横山さん）

約4年前、夫妻で3ヶ月ヨーロッパ旅行をした際、北欧ノルウェーで飲んだFuglenのコーヒーに衝撃を受け「このコーヒーを毎日飲みたい」と思い、帰国後カフェと自宅兼オフィスを営める場所を鎌倉で探し始めた初日に、この古民家に会った。まわりを川端康成や山口瞳



各所にヨーロッパのヴィンテージクロスをぜいたくに使用。

（現・加賀合邸）の家など文化財級の建物に囲まれ、鎌倉最古の神社「甘縄神明宮」と隣り合うただならぬ場所だ。「数年間放置されていたようで、廃墟同然の姿でした。敷地が広いので、区画して一部を売るのが合理的ですが、このまま残すべきだと強く感じました」と横山さんは振り返る。不動産会社でたくさん建物を企画してきた横山さんは、自らの手でものづくりをしたいと一念発起。大



甘夏民家
（神奈川県鎌倉市）
〈設計・企画〉
Safari B Company

古民家再生





GLASS

カフェの本棚には旅に関する本が並ぶ。自分たちが好きな本やCDを並べ、音楽も自らが楽しむことを優先し大きな音でかける。フロアランプはフランスの「GRAS」。

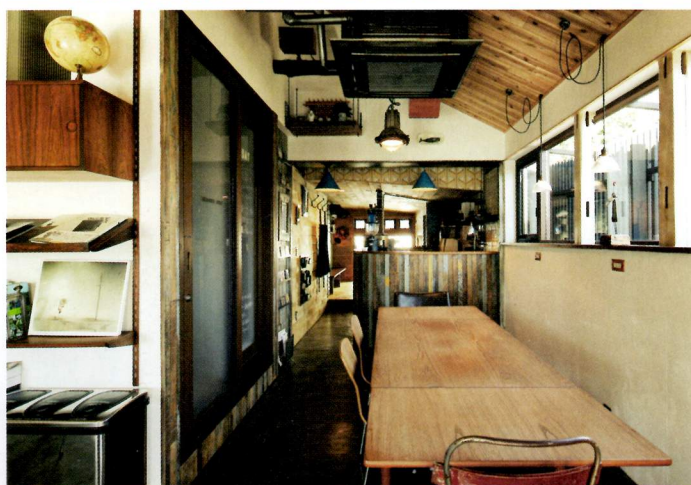


シェアハウス各室には、デンマークのヴィンテージ・ライティングビューロ、ベッド、浄水器を通した水が使える洗面器を完備。内窓がついているので冬も暖かい。

VINTAGE HOUSE STYLES

甘夏民家（神奈川県鎌倉市）

上・カフェの厨房の壁。フランスの古いビルに使われていたヴィンテージタイルを張った。
下・カフェのウェグナーのエクステンションテーブルは、知らない者同士の会話を誘発する。





左・コンセントプレートも手作業でエイジング。窓辺には旅仲間の造形作家の作品を飾って。
右・1階にある事務所スペース。現在は孫さんが行政書士のオフィスとして利用している。

外部仕上げ

屋根：瓦、スレート

壁：漆喰、羽目板、モルタル、サイディング

内部仕上げ

1階〈カフェ〉床：無垢材、モルタル

壁：漆喰、クロス、オーク材 天井：スギ板、クロス

〈居室〉床：無垢材 壁・天井：クロス

〈オフィス〉床：無垢材 壁・天井：漆喰

〈洗面室、トイレ〉床：モルタル 壁・天井：クロス

2階〈居室〉床：無垢材 壁・天井：クロス

〈洗面室、トイレ〉床：モルタル 壁・天井：クロス

設備メーカー

〈キッチン〉タカスタンダード

〈コンロ〉タカスタンダード

〈キッチン水栓〉TOTO

〈トイレ〉TOTO

〈ユニットバス〉TOTO



1階



2階



1階



2階

多彩なヴィンテージクロス。



工の職業訓練校に通いつつ、鎌倉の現場では職人たちから学んで施工に加わった。「1本の釘ですら、適当に打ったものはありません」と孫さんが断言するほど、横山さんは細部まで入念に考え抜き、膨大な手間と材料費をかけてリノベーションを行った。完成までには2年の歳月を費やしている。外観は昔のままの姿を再現したが、内部はすべてをつくり変えた。デザインや施工の基準は

シエアハウスには国際色豊かな住人が暮らし、カフェが営業する土日は近隣の人々が気軽に訪れる場になっている。「単純に古いものを残すのではなく、持続的に新しい文化が生まれ続ける場にする。それが私たちの考える古民家再生です」

「自分が100%いいと思えるまでやりきる」と。家具はシエアハウスの個室まで、すべて本物のヴィンテージを、時間をかけてそろえた。カフェが完成してお披露目を行うと、不安そうに見守ってきた近隣の人々は、建物が昔のままに残されたことへの安堵を漏らした。後日、代々の住人たちが来店して感謝の言葉を残すと、夫妻は改めてこの建物が持つ意味と責任を自覚したという。



Toru Yokoyama

横山 亨 Safari B Company 代表。19歳から旅とバイクに心酔し、数年間世界放浪を繰返す。現在、大家業・不動産コンサルタント兼プロデューサー。鎌倉にてカフェ「雨ニモマケズ」を経営。旅で得た経験をもとに数々の空間を制作中。



Safari B Company

神奈川県鎌倉市長谷1・11・35

TEL 0467・84・7508

FAX 045・345・4652

E-Mail safari_bcompany@gmail.com

http://safari_bcompany.net